



年頭所感

医薬品流通の さらなる標準化を 目指して



一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会 会長

鈴木 賢

明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃より日本医薬品卸売業連合会へのご支援、ご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年の年頭所感で、「流通改革の定着に向けて」と題し流通改革への理解を深めるとともに、流通改革の定着への取組みをお願いいたしました。特に昨年は、薬価改定、消費税の増税対応、未妥結減算ルール導入など、対応しなければならない課題が多くあり、更には、新薬創出加算制度の試行継続、後発品の使用促進といったことから、カテゴリーチェンジが急速に進展し、業界環境、市場構造が大きな転換期を迎えた年となりました。特に未妥結減算ルールの導入によって、MSが早期妥結に向けた価格交渉とその事務処理に集中せざるを得ない状況が発生し、卸各社の営業利益率が

低下してしまうという事態にまで至りました。未妥結減算ルールが我々の業界に及ぼした影響は小さくありません。

このような中において、皆様の多大なる尽力のおかげで薬価改定初年度の4-9月における妥結率に関して過去に例のない高い数値を達成していただきました。本当にありがとうございます。引き続き早期妥結を目指した誠実な交渉を行う必要がありますし、その際には単品単価取引の推進を犠牲にすることの無いよう努めていく必要があると思っています。早期妥結の為に、従来以上に厳しい交渉を強いられ、不本意ながら単品単価交渉が困難な場面もあったかと思いますが、市場実勢に基づき決定される公定価格、薬価を持つ商品を扱う私たちには、薬価調査の信頼性を確保する責任があります。社会に負っている責任をしっかりと自覚し、価値に見合った適正な価格形成のた

めにも単品単価取引を更に推進していただき、真の流通改革に繋げなければならないと考えています。

昨年12月9日に開催された、「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会（流改懇）」で、有識者から「世界的にどの業界を見ても、標準化された仕組みがあり、そのうえでIT化、情報化などが整備されている。流通過程をおろそかにする業界は衰退の道を進む」という話がありました。我々はこの未妥結減算ルールの導入を一つの機会として、早期妥結と単品単価取引を業界の標準としていく必要があるのかもしれませんが、その上でIT化を一層推進させたり、各種コストを低減させたりするなどの効率化を図っていく道を模索していく必要があるのかもしれませんが。

今年も我々の業界を取り巻く環境の変化は続いていくこととなりそうです。薬価の毎年改定については現在進行形で議論が進んでいます。ご承知のとおり薬価は2年毎に診療報酬改定と同時に改定されておりますが、増え続ける医療費の削減を図るため、財務省を中心に薬価調査を毎年行いタイムリーに市場実勢価格を反映した薬価にすべきという主張がなされております。

卸にとって、毎年改定は多大なコストと労力を要して過大な負担を強いられることとなります。例えば、価格交渉を常に行う必要が出るなど、MSの通常業務に支障が生じる恐れがあります。その上、薬価が更に下がることを見越した価格交渉がなされることによって、マーケットメカニズムが歪められることも危惧されます。また、公定価格である薬価は診療報酬と表裏一体の関係にあり、薬価改定も診療報酬改定と同時に行われるべきと考えます。

卸連合会としては、関連団体がこぞって反対する中で、毎年改定を前提とした薬価調査には協力できないとの声明をとりまとめ、薬政連と連携して会長・副会長で40名ほどの国会議員を訪問し

て、理解を求め、6月24日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2014」において、「市場実勢価格を適正に反映できるよう、薬価調査・薬価改定の在り方について、診療報酬本体への影響にも留意しつつ、その頻度を含めて検討する。」とされました。卸連合会としては薬価の毎年改定の影響を踏まえて反対姿勢を貫いて参ります。

この他にも、医薬品の物流機能の強化と質の向上についても更に努力を継続する必要性があるものと思っています。「日本の医薬品卸ならでは」と世界に誇れる物流網の更なる整備を国民の健康の為にも推進していくことが必要なのではないかと感じています。日本全国津々浦々、すべての国民に安心できる医療を保証する、国民皆保険制度に貢献すべく毛細血管型物流を充実させるとともに、大規模災害、非常時にも医薬品の安定供給を絶えさせない強靱な物流網の整備によって我々は社会に貢献していくことに義務を負っているものと思っています。

また、国民の保健衛生を担う医薬品卸売業に課せられたコンプライアンスについて国民に負う責任も重大であることを自覚したうえで、流通の質を一層向上させることも流通改革の一部なのではないかと思えます。

以上述べさせていただいたようなことを真摯に、着実にやること、そして我々は社会インフラの一翼を担う存在であることをしっかりと自覚し、流通改革を通して業界に身を置く全員が誇りを持って仕事ができる業界としていきたいと考えておりますので、本年も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。